

INPIT-KANSAI × Gille Hrabal

欧州審査実務

— 進歩性を中心に日本実務家の視点で読み解く —

欧州特許庁（EPO）における審査実務に関して、昔に比べ多くの情報が日本にも入ってきており、これにより日本の実務家にも欧州審査基準等の解釈などを含め一定程度浸透してきているといえます。一方で日本の実務家の方々からは、欧州実務の定性的な理解は進んだものの、それらを具体的に実務に落とし込むことは依然として容易でないという声も聞かれます。実際にEPOからの拒絶理由通知を前にして、具体的な対処方針を検討しようとしたとき、悩む機会は多いのではないのでしょうか。

そこで、INPIT-KANSAIはこのたびドイツGille Hrabal特許事務所より、日本特許庁で審判官・審査官としての経験を持つ小出輝氏を講師にお招きし、欧州審査実務を、特に進歩性を中心としたテーマでご紹介します。

12.22

金

15:00 ~ 17:00

参加無料 / Zoom配信

右のQRコードを読み取り、応募フォームからお申込みください！

※ 申込み〆切：2023年12月17日(日)

※ 申込数が100名に達し次第、募集を締め切らせていただきます

講師

小出輝 Teru Koide



日本国弁理士、元日本特許庁審判官、審査官

2005年に日本国特許庁入庁、化学・機械・エレクトロニクスの審査・審判に従事。職務発明制度等の知財政策立案及び関連法令を担当する。その間、出向により国際政府機関OECDにて特許統計分析、経済産業省にて知財活用政策を担当。2021年に特許庁退官、同年よりドイツGille Hrabal特許事務所にてEPO実務を担当。



主催・問合せ先：INPIT-KANSAI（独立行政法人 工業所有権情報・研修館 近畿統括本部）

電話：06-6147-2811

E-MAIL：ip-js01@inpit.go.jp